

愛媛県看護協会 助産師職能委員会 ニュースレター

第3号

目次

1. 研修報告：「母子のための地域包括ケア病棟を知ろう！取り組もう！」
：「多施設合同新人助産師研修」
：「保健師交流集会」に参加して
2. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報
3. 助産師職能委員 リレー寄稿
4. 原稿募集中！入会手続きのご案内 編集後記

1. 研修報告 3職能交流 助産師交流集会

「母子のための地域包括ケア病棟を知ろう！取り組もう！」

10月29日（土）に助産師交流集会「母子のための地域包括ケア病棟推進事業」を知ろう！取り組もう！が開催されました。

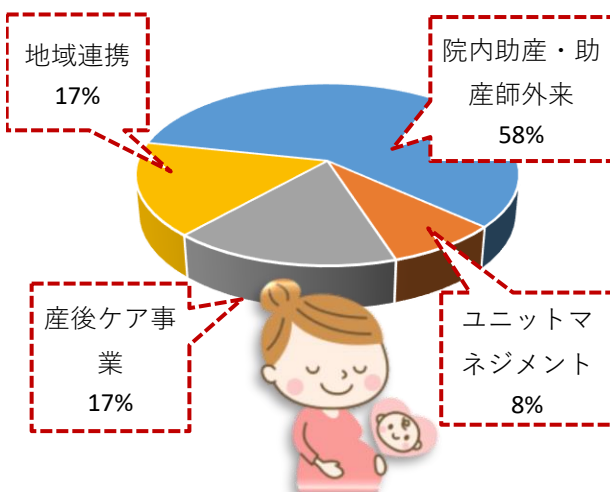
参加者は12名と少ないものでしたが、講義者に2019年「母子のための地域包括ケア病棟推進事業」に参加された公立学校共済組合中国中央病院 副看護師長 久保田悟子氏、公立学校共済組合四国中央病院 助産師 中尾慶子氏、高石留美子氏を迎え活動について発表していただきました。

それぞれの施設が開設するまでの経緯、工夫した点、活動内容について発表され、その後3つのグループに分け、発表からの学びや気づき、自部署の課題、今後自部署で取り組めることは何かを見出しグループワークをしました。各グループ活発なディスカッションで盛り上がりました。切れ目なく継続したケアを提供するため、母子が安心して生み育てられる環境を作るため、今私たちができることを一つ一つコツコツと体制作りをしていきましょう！（鷹子知美）

高石留美子氏



研修後のアンケート結果：今後取り組みそうなこと・取り組んでみたい機能



中尾慶子氏



久保田悟子氏



研修報告：「多施設合同新人助産師研修会」始まりました！

令和4年9月29日に愛媛県内の新人助産師8人が集合し、1日を通して『先輩の体験談』『助産師クリニカルラダーの基礎知識』をテーマに研修会を行いました。

「先輩の体験談」では、2人の経験年数の異なる先輩助産師からの話を聞くという貴重な経験をしました。助産師として働いている先輩から、助産師になるまでの道のり、助産師になってからどのようにキャリアを積んだのか、嬉しかったこと、何を大事にしてきたかなど色々なことを聞けたと思います。その後、グループワークを行い、「今の私」、「一年後の私」のテーマを元に話し合い、模造紙にまとめることができました。「**1年後の私**」に近づけるように頑張りましょう。

午後からの「助産師クリニカルラダーの基礎知識」では、Web研修となりましたが宮崎大学医学部看護学科母性看護学・助産学領域を担当されている関屋伸子先生から助産師に対する社会的要請や課題、キャリアアップの方法などを分かりやすく説明していただきました。「わたしのキャリアパス」のワークシートに書き込み、見える化し長い助産師キャリアを築いていく上で基本的な考え方を身につけることに繋がりました。有意義な時間を過ごすことができた研修でした。4回シリーズが始まります。一緒に学び成長しよう！

(赤穂静香)

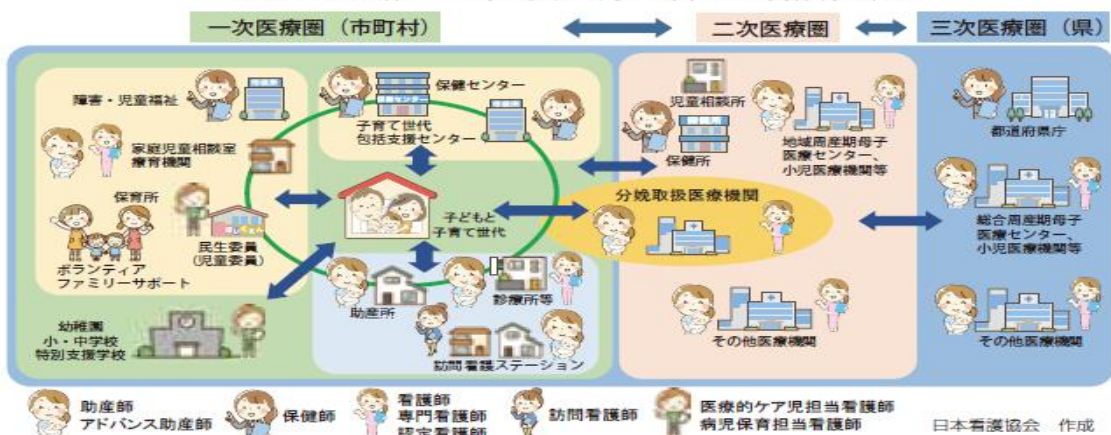
他の施設の助産師と交流できて良かった。今後もより頑張ろうと思いました。

研修報告：「3職能交流集会保健師職能委員研修に参加して」

日頃、妊婦健診時に気になる妊婦を把握し、分娩・産褥期まで保健指導等を通して支援を行っています。しかし、1か月健診後からは地域での支援となるため、病院の手を離れてからの地域での活動や保健師の視点からの児童虐待防止に向けての関わりについて今回の研修で具体的に知ることができ、大変参考になりました。改めて地域との日頃からの協力・情報共有の場が必要だと感じました。また、他施設での事例発表では知的障害妊婦への支援の難しさや問題点について考えさせられました。

中板育美先生の講義の中での「受援力をつける」という言葉が印象的でした。指導をするのではなく支援を受ける力をつけてもらうことが子どもの安全・安心・幸福につながっていくということを今後も肝に銘じて妊婦の支援に関わっていきたいと思いました。(高石留美子)

図 妊娠期からの切れ目のない看護職による支援の目指すもの
身近な地域で、保険・医療・福祉部門との密接な連携体制の確立



2. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報（2023年1月～）

月日	学会・研修会名	会場
1/13・14	日本周産期・新生児医学会周産期学シンポジウム	名古屋国際会議場
1/28	「助産師によるHTLV-1授乳支援」	日本助産師会勤務助産師部会集会
1/29	院内助産・助産師外来推進フォーラム	日本看護協会
2/4	日本双生児研究学会(ハイブリッド開催予定)	就実大学110周年記念ホール
2/18・19	日本SIDS・乳幼児突然死予防学会	神戸大学医学部会館シスメックスホール
2/27 12:00～ 3/13 23:59	災害時の妊産婦支援セミナー（WEBセミナー）	一般社団法人日本家族計画協会
2/13 12:00～ 3/13 23:59	子育てに寄り添う支援者応援セミナー～ことばの発達編～（WEBセミナー）	一般社団法人日本家族計画協会
3/18・19	SDGsと助産ワークショップ（WEBセミナー）	一般社団法人 日本助産学会
3/25	第6回産前産後ケア・子育て支援学会	東京大学伊藤国際学術研究センター

（伊藤美香）

3. 助産師職能委員 リレー寄稿

COVID-19が、世界に拡がり始めて3年が経過しました。助産師は、このウィルスから母子を守るために戦い続けています。ウィルスの得ても知れず、右往左往していた3年前から、院内外でシステムが少しずつ構築され、COVID-19との付き合い方も学習してきました。しかし現在に至っても、新たな局面に出会い、対応に悩むことも多々あります。今後もこのウィルスとの付き合いはしばらく続くことでしょう。COVID-19に関連した体制や状況もまだまだ変化し、私たちの悩みも尽きることはないように感じられます。どんな状況下でも、母子が安全に安心して妊娠・出産・育児ができるように支援し続けることが助産師の果たすべき役割なのだと思われています。母子と助産師の皆様が孤立することなく、同職種や他職種の智慧や協力を求め、共に前に進んでいくことを願います。

（神野奈美恵）

4. お知らせ

ニュースレターを通じて実践活動や求人などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は愛媛県看護協会までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2023年6月末日です。

愛媛県看護協会へ入会し、助産師間で知識と経験を共有し、母子に向けて質の高いケアを提供しませんか？入会を希望される方は、下記までご連絡ください。

公益社団法人愛媛看護協会

事務局 E-Mail nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp

編集後記：明けましておめでとうございます。2023年のスタートです。今年は卯年です。そのとび姿から「飛躍」「向上」を象徴するのと言われています。また草木が地面を這うようになった状態を表しているそうです。今年なにか新しいことに挑戦するには最適な年となりそうですね。（嶋屋順子）